



〈わたくし紹介〉。民衆としての理念です。事実です。  
〈健康平和生活への道〉。道徳への理念。解脱を。  
「やまとことばの世界観と音韻の論理」。再編と自立へ。源流から。  
「環境問題」。総合的現実論です。進化を。  
「生物系と個人」。本質論の誕生へ。理論の統一です。  
「人間と通信の要点」。創造性の方向です。人間へ。  
「日本民族紹介と日英翻訳機械」。生産の企画です。専門的。  
「認識と労働」。主体学への移行を。方法論です。  
〈思想志、<sup>しきょうし</sup>坦坦〉。思想詩。再構築へ。  
「現実論としての数学を」。意外な基礎論です。痛快か。  
「対象と言語」。現実論の世界学です。本格的。  
「脱レーニン」。真理論の反省です。けじめです。  
「物理学再考」。覚醒への道。その覚悟を。  
「原子転換論」。新しい自然学です。推理です。  
「TQ技術の理解へ」。全力の中間報告です。集大成です。

以上、あくまでも現実の世界を認識していく、架空論から現実論へといふ姿勢です。

当面の利益も大切だが、あへて人間ないし人間社会としての理念から入門する、利念から理念へといふ姿勢です。

これらの諸文章は、ヘーゲル、マルクス、エンゲルスと、三浦つとむ、滝村隆一、庄司和晃、吉本隆明、山田俊郎、渥美俊一、川喜田二郎、沖 正弘、高橋五郎に学びて書いてをります。